

・ボックスダイアグラムは、2者の効用が比較不可能であることを踏まえたうえで最適点を探し出すツールとして非常に画期的だなあと感じました。

・古典派では市場での財の交換は等価交換されていたので、貨幣は媒介財的なものと個人的に思っています。ワルラスの経済モデルで貨幣を価値尺度財財として扱っていたと思いますが、貨幣が価値尺度を表すといつから、見なされるようになったのですか。それに加え古典派から今のクールに至る学派の貨幣についての考えを大まかに知りたいです。

・ボックスダイアグラムでは2者の無差別曲線を用いて最適点を求めているが、それは序数的効用論という考え方に反していないのかと思った。

・「各人が効用を最大化する」という考え方が古典派・新古典派の前提ですが、今日では行動経済学のようないわゆる「経済人」の前提を否定する学問も生まれてきています。そこで、そのような「経済人」を前提としない考え方が最初に提唱されたのはいつ頃なのでしょうか？

・12/23の回で、経済学と経営学の根本的な違いがはっきりと理解できました。ありがとうございます。

・以前『有閑階級の理論』を読んだのですが個人的にウェブレンは文化人類学的、経済史的なアプローチを取るなどの印象を受けました。ウェブレンが生きていた時代のことを説明するのも原始社会の話から始めており、制度を人間の根本的性質から描写しようとしているとの印象も受けました。講義では制度学派に分類されていましたが、これはウェブレンがそうした観点から経済制度（主に慣習等）を記述したからですか。他の経済学者とは異なるアプローチをとっているとの感想を持ち、経済学と断定しにくいので制度学派に入れられているのではないかと考え質問をさせていただきました。

・なんだか教科書のまえがきみたいですが、経営学と商学の違いとは何かを大学一年生の時に高校生から聞かれて答えられなかったのを思い出しました。前者は組織の動かし方で後者はモノの売り方…と漠然と考えてはいるのですが、経済学も含め差があるようでないような…。